

## 武蔵野市青少年に関するアンケート調査の調査結果（概要版）

### I 調査の概要

#### 1 調査の目的

本調査は、武蔵野市内の中学校および高等学校の生徒の放課後や休日の過ごし方および携帯電話やゲームの利用状況のほか、居場所や悩み、地域とのつながり等について把握し、現在策定中である武蔵野市子ども・子育て支援事業計画「第五次子どもプラン武蔵野」の基礎資料とすることを目的として実施したものである。

#### 2 調査期間

平成30年（2018年）10月2日（火）～10月15日（月）

#### 3 調査対象者等

| 対象                                   | 配布数    | 有効回答数  | 有効回収率 |
|--------------------------------------|--------|--------|-------|
| 市内公立中学校の第3学年の生徒<br>（3校 全クラス）         | 365票   | 357票   | 97.8% |
| 市内都立・私立高校の第2学年の生徒<br>（6校 各校に120名を基準） | 869票   | 847票   | 97.5% |
| 合 計                                  | 1,234票 | 1,204票 | 97.6% |

#### 4 調査方法

学校を通じての配布及び回収

### II 調査の結果

#### 1 平日の放課後や休日の過ごし方について

##### (1) 平日の放課後や休日はどのように過ごしていますか？（平日・休日それぞれ3つまで選択）

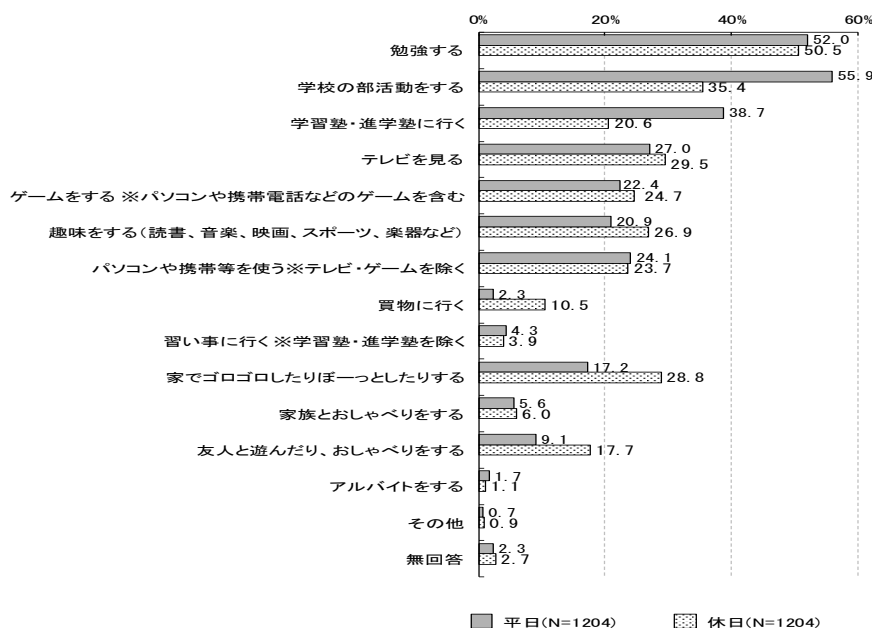
平日の放課後や休日の過ごし方をみると、平日の放課後は「学校の部活動をする」が55.9%と最も多く、ついで「勉強する」が52.0%、「学習塾・進学塾に行く」が38.7%となっている。

次に休日をみると、「勉強する」が50.5%と最も多く、ついで「学校の部活動をする」が35.4%、「テレビを見る」が29.5%となっている。

中高生別にみると、休日は中高生とも勉強する割合が多いが、平日の放課後をみると、中学生は「学習塾・進学塾」が多い傾向にあり、高校生は「学校の部活動をする」が多い傾向にある。中学生は3年生なので、受験を控えていることが影響している部分もあると推測される。

また、男女別にみると、平日・休日ともに「ゲームをする」は男子の方が女子より多い傾向にある一方、「パソコンや携帯電話を使う」では、女子の方が男子より多い傾向にある。

なお、平成25年度に行った同様の調査と比べると、平日・休日ともに「勉強する」が増加している。

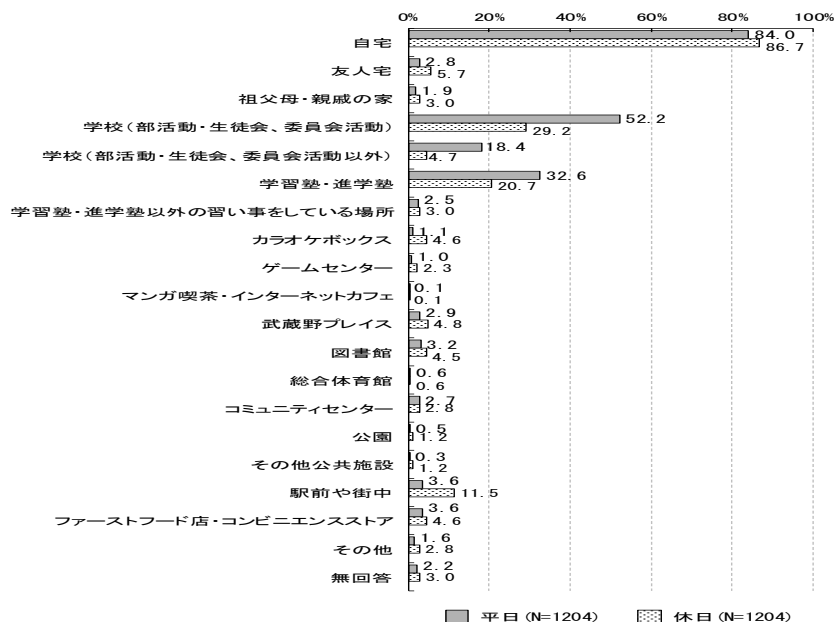


## (2) 平日の放課後や休日は、どこで過ごすことが多いですか？（平日・休日それぞれ3つまで選択）

平日の放課後や休日を過ごすことの多い場所をみると、平日の放課後・休日ともに「自宅」が最も多く（平日：84.0%、休日：86.7%）、ついで「学校（部活動・生徒会、委員会活動）」となっている（平日：52.2%、休日：29.2%）。

中高生別にみると、中学生は「学習塾・進学塾」の割合が高校生よりも多く、高校生は「学校（部活動・生徒会、委員会活動）」の割合が中学生よりも多い傾向にある。中学生は3年生なので、受験を控えていることが影響している部分もあると推測される。

なお、平成25年度に行った同様の調査と比べると、上位3つがすべて微増している。

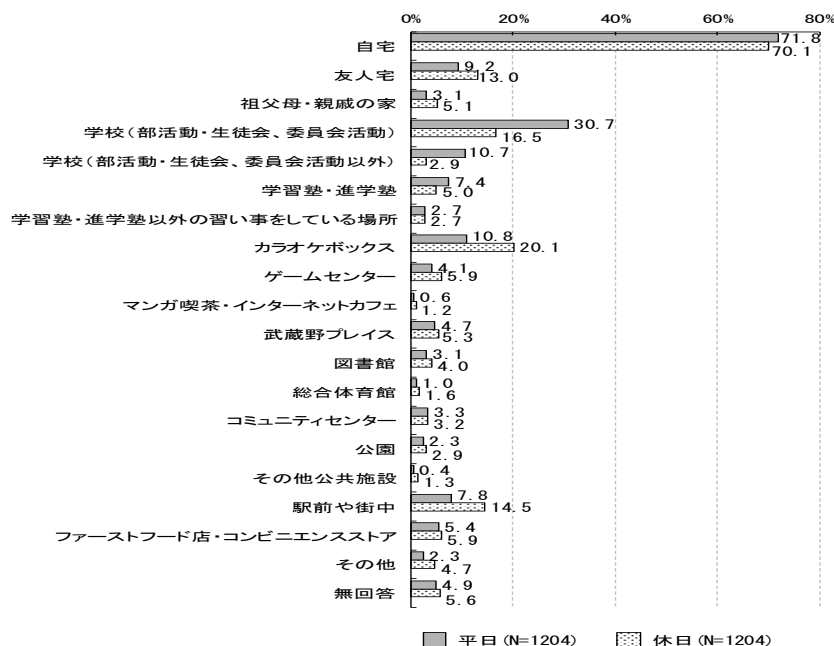


## (3) 平日の放課後や休日は、どこで過ごすことが楽しいですか？（平日・休日それぞれ3つまで選択）

平日の放課後や休日を過ごして楽しい場所をみると、平日の放課後については「自宅」が71.8%と最も多く、ついで「学校（部活動・生徒会、委員会活動）」が30.7%となっている。休日については、「自宅」が70.1%と最も多く、ついで「カラオケボックス」が20.1%となっている。

中高生別・男女別にみると、平日・休日ともに「自宅」の割合に大きな差はみられないが、中学生男子は中学生女子に比べて「ゲームセンター」の割合が多く、中学生女子は中学生男子に比べて「カラオケボックス」の割合が多くなっている。

なお、平成25年度に行った同様の調査と比べると、「自宅」の割合が平日・休日ともに多くなっている。



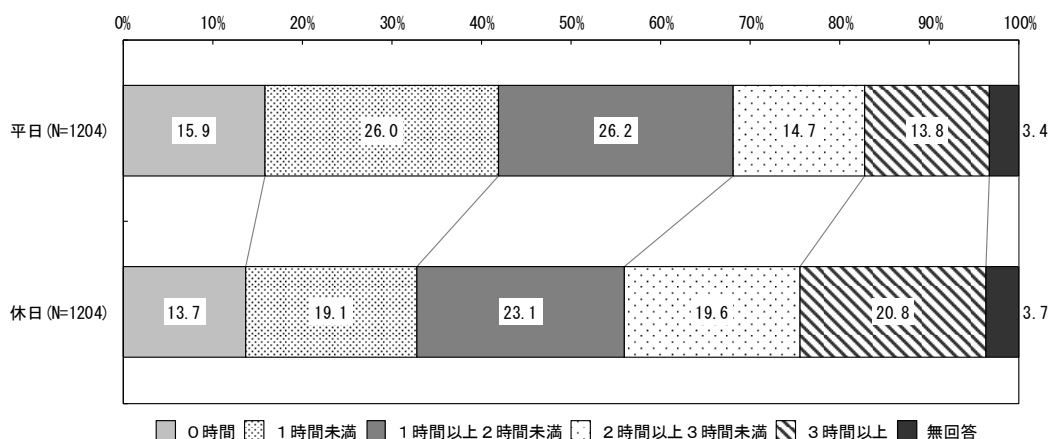
## 2 ゲーム、携帯電話などの利用状況について

### (1) 一日どのくらいゲーム機などでゲームをしますか？（平日・休日それぞれ1つのみ選択）

平日の放課後や休日にゲーム機などでゲームをする時間をみると、平日の放課後は「1時間以上2時間未満」が26.2%と最も多く、ついで「1時間未満」が26.0%となっている。休日は「1時間以上2時間未満」が23.1%と最も多く、ついで「3時間以上」が20.8%となっている。

男女別にみると、男子の方が女子よりもゲーム機などでゲームをする傾向にある。

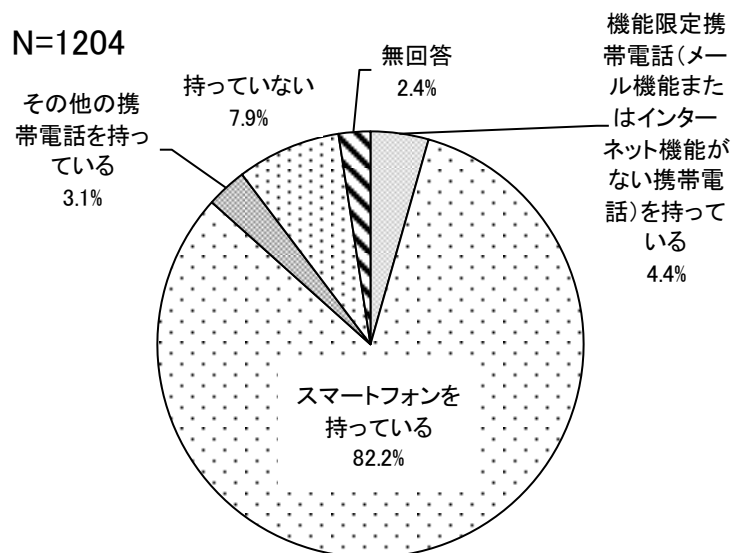
なお、平成25年度に行った同様の調査と比べると、平日・休日ともゲームをする時間が増加している傾向にある。



### (2) 自分専用の携帯電話を持っていますか？（1つのみ選択）

自分専用の携帯電話の所持についてみると、「スマートフォンを持っている」が82.2%と最も多く、ついで「持っていない」が7.9%となっている。

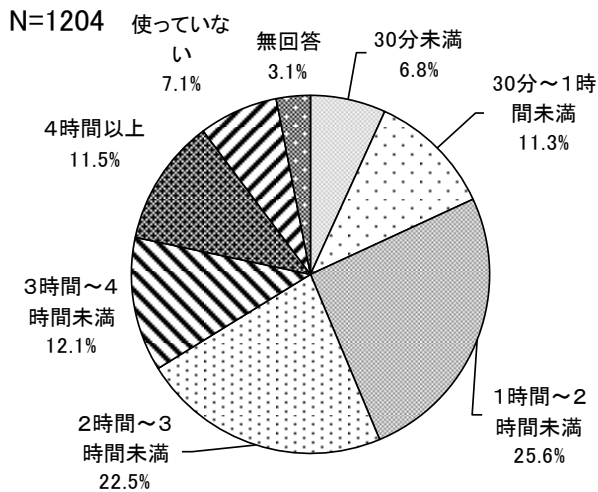
中高生別・男女別にみると、中学生では所持率の男女差がある一方、高校生になると男女ともに高い所持率となっている。



(3) 1日平均でどのくらいの時間、携帯電話を使いますか？（1つのみ選択）

1日に平均して携帯電話をどのくらい使っているかについてみると、「1時間～2時間未満」が25.6%と最も多く、ついで「2時間～3時間未満」が22.5%となっている。

中高生別・男女別にみると、中学生男子は「使っていない」が29.9%と最も多くなっている。

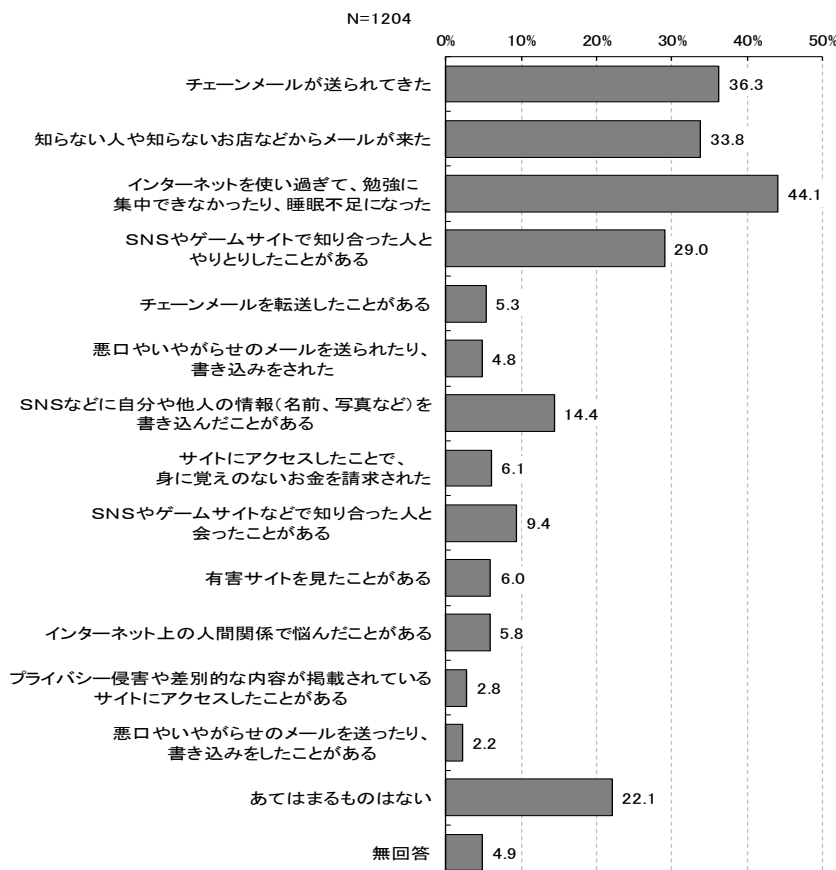


(4) インターネットを使っていて、次のような経験がありますか？（当てはまるもの全て選択）

インターネットでの経験についてみると、「インターネットを使い過ぎて、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になった」が44.1%と最も多く、ついで「チェーンメールが送られてきた」が36.3%となっている。

中高生別・男女別にみると、「インターネットを使い過ぎて、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になった」は全体的に多い傾向にあるものの、高校生の方がより多く経験している。また、中学生女子は、「チェーンメールが送られてきた」が50.6%と最も多い一方、中学生男子は「あてはまるものはない」が最も多く39.0%となっている。

なお、平成25年度に行った同様の調査と比べると、「インターネットを使い過ぎて、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になった」の割合が増加している。



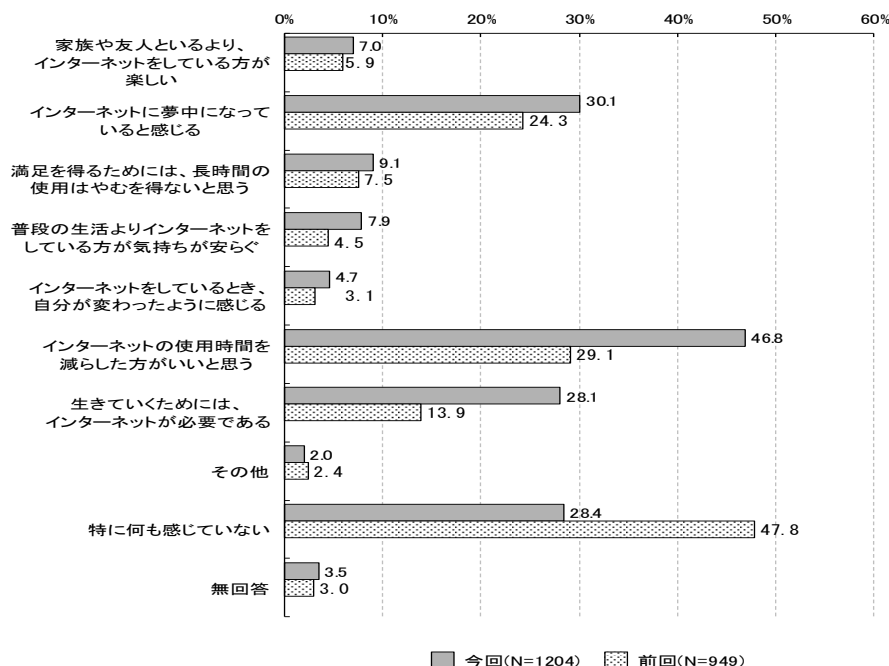
(5) インターネットを使用することについて、日ごろから思ったり、感じたりしていることはありますか？

(当てはまるもの全て選択)

インターネットを使用することについて、日ごろから思ったり、感じたりしていることをみると、「インターネットの使用時間を減らした方がいいと思う」が46.8%と最も多く、ついで「インターネットに夢中になっていると感じる」が30.1%となっている。

中高生別・男女別にみると、中学生女子や高校生は「インターネットの使用時間を減らした方がいいと思う」の割合が多い傾向にある。

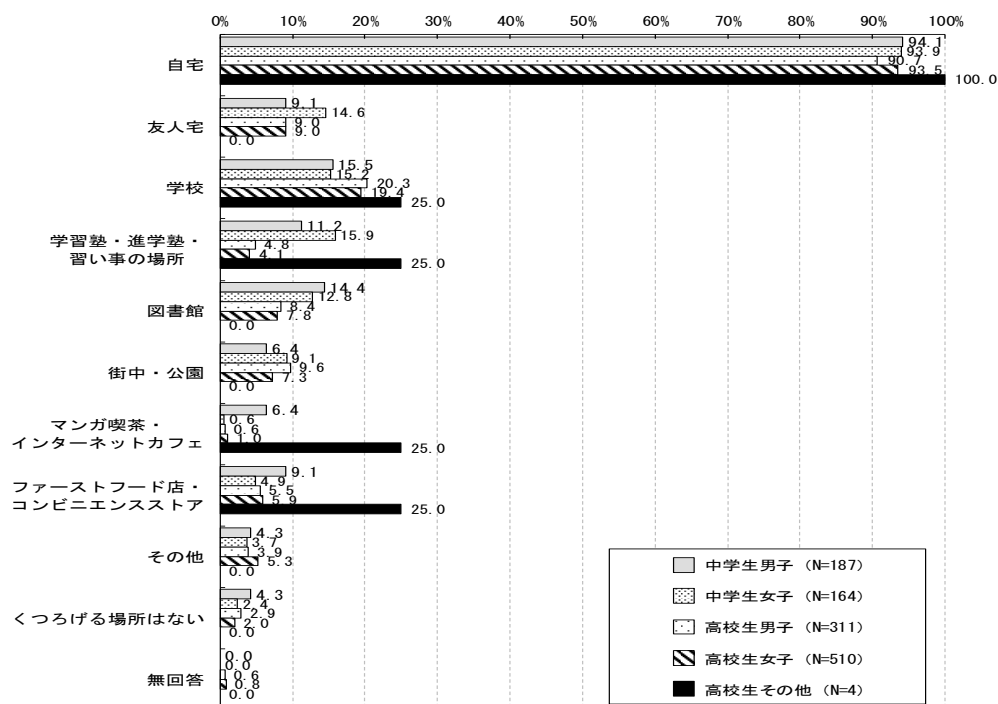
なお、平成25年度に行った同様の調査と比べると、「インターネットの使用時間を減らした方がいいと思う」「生きていくためには、インターネットが必要である」が増加した一方、「特に何も感じていない」が減少している。



### 3 居場所や悩みについて

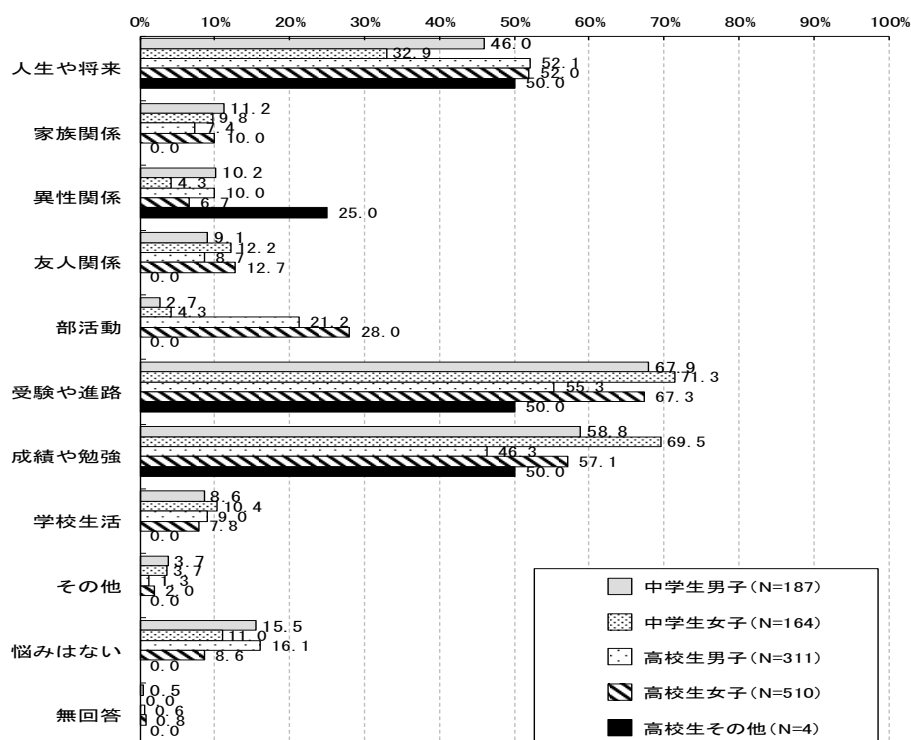
(1) 気軽にくつろげる場所はどこですか？（当てはまるもの全て選択）

気軽にくつろげる場所をみると、中高生別・男女別による大きな差はなく、「自宅」が最も多く、それぞれ9割以上となっている。次いで「学校」が高い傾向にある。



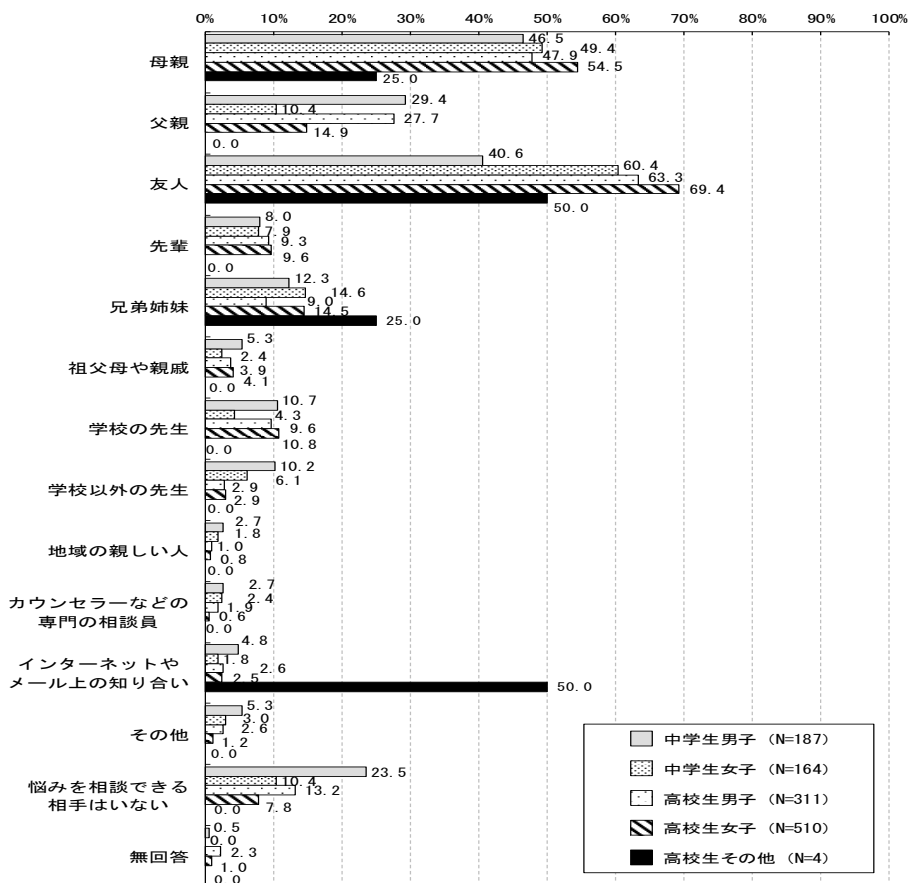
### (2) 今、悩んでいることは何ですか？（当てはまるもの全て選択）

今、悩んでいることをみると、中学生・高校生ともに「受験や進路」が5割以上、「成績や勉強」が4割台から約7割と高い傾向にある。また、「人生や将来」も3～5割程度となっている。



### (3) 気軽に悩みを相談できる相手は誰ですか？（当てはまるもの全て選択）

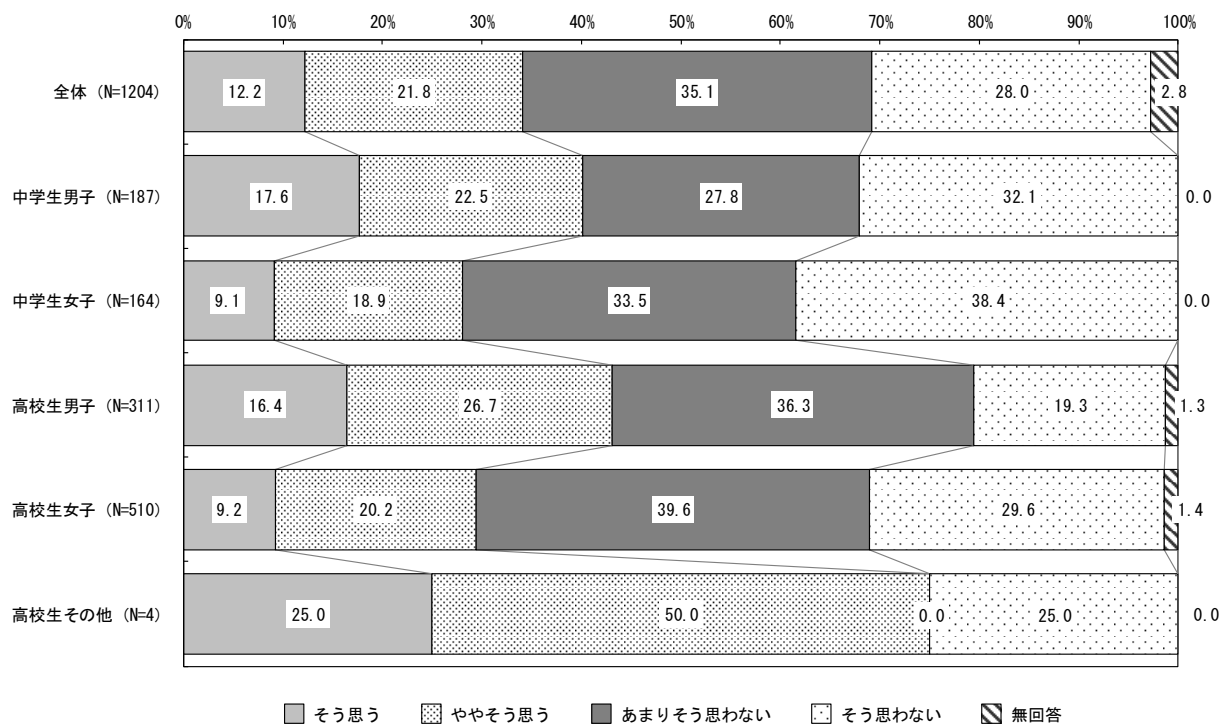
気軽に相談できる相手としては、「友人」が最も多く、ついで「母親」となっている。一方、「気軽に相談できる相手はいない」の割合は、男子の方が女子に比べて高くなっている。



#### (4) 毎日が退屈だと感じる（１つのみ選択）

毎日が退屈だと感じているかについてみると、全体では「そう思う」と「ややそう思う」を合計した「退屈だと感じる傾向」が３割台となっている。

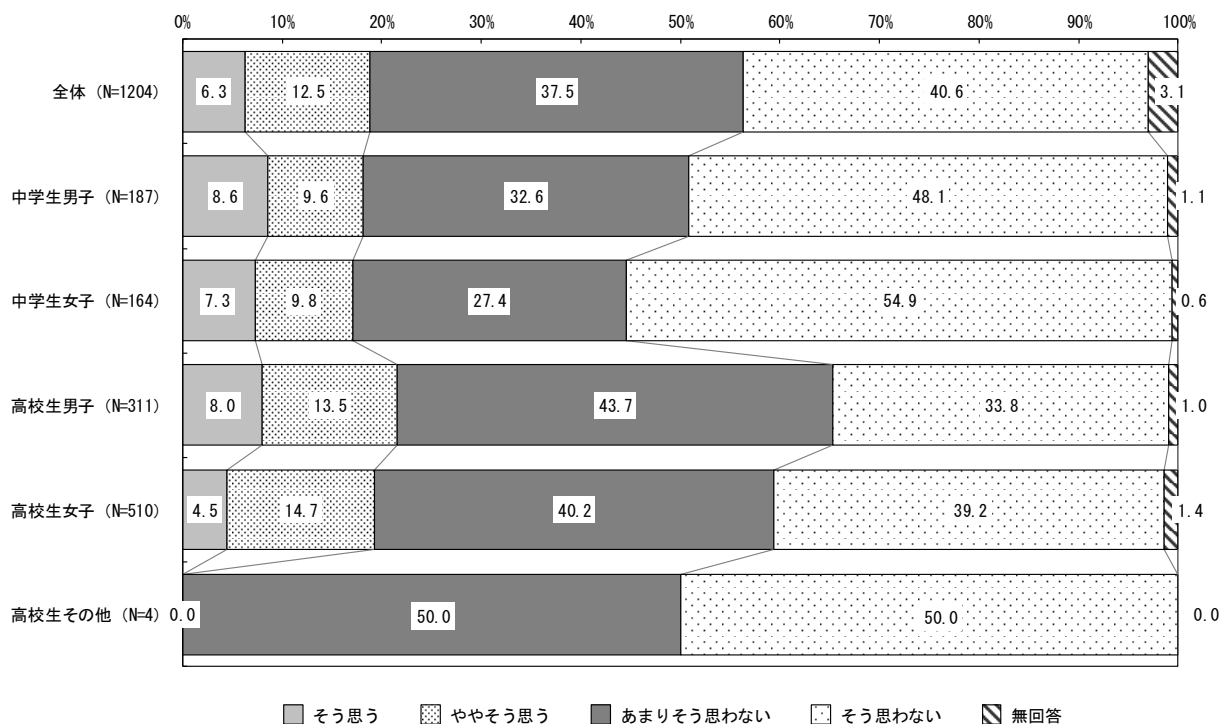
男女別にみると、男子の方が女子よりも毎日が退屈と感じている傾向にある。



#### (5) いつも自分の居場所がないと感じる（１つのみ選択）

いつも自分の居場所がないと感じているかについてみると、全体では「そう思う」と「ややそう思う」を合計した「自分の居場所がないと感じる傾向」が約２割となっている。

中高生別・男女別にみると、高校生の方が中学生よりも自分の居場所がないと感じており、また、男子の方が女子よりも居場所がないと感じている傾向にある。

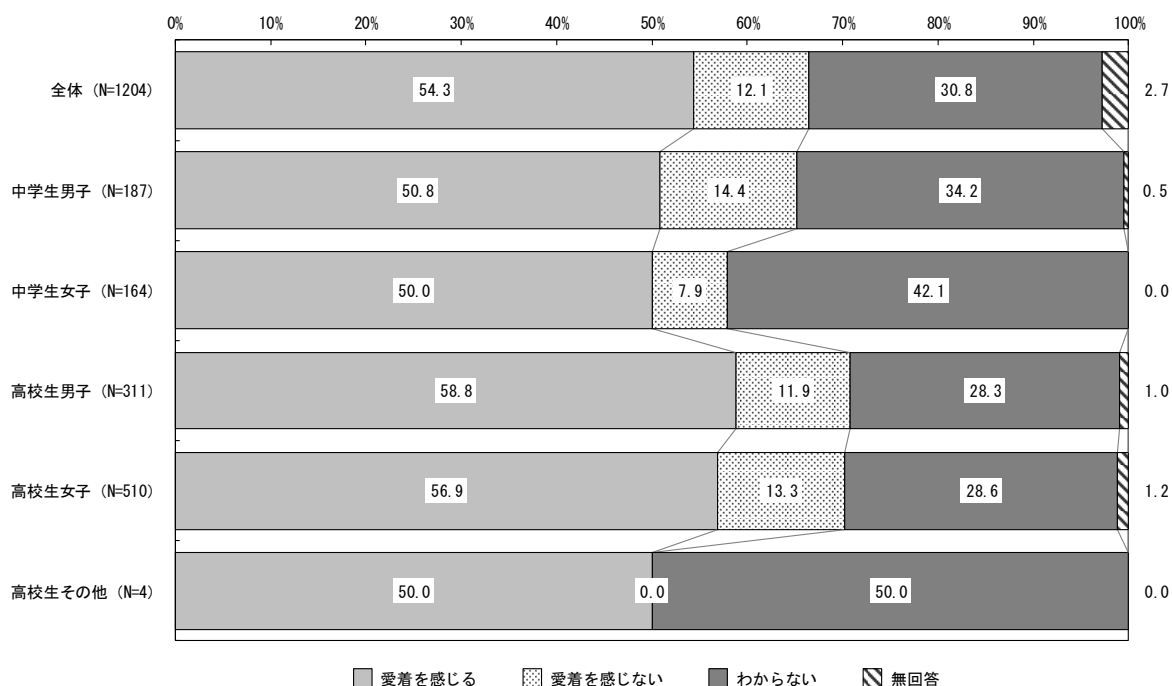


#### 4 住んでいる地域とのつながりについて

##### (1) 住んでいる「地域」に対して愛着を感じていますか？（1つのみ選択）

住んでいる「地域」に対する愛着をみると、「愛着を感じる」が54.3%と最も多くなっている。

中高生別にみると、高校生の方が中学生よりも愛着を感じている傾向にある。また、市内在住の高校生は地域に対する愛着を持つ人が多くなっている。



##### (2) あなたは地域活動に参加していますか？（1つのみ選択）

地域活動への参加状況をみると、「参加している」と「今は参加はしていないが、今後参加したいと考えている」を合計した「参加する傾向」は約4割となっている。

中高生別にみると、中学生の方が高校生よりも参加している傾向にある。また、市外在住の高校生は、「参加しておらず、今後も参加したいとは考えていない」の割合が高くなっている。

